

部活動の活動方針

千葉県私立 麗澤中学校 校長 櫻井 譲

教育目標	感謝の心、自立の心、思いやりの心を育む 一、大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 一、自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 一、自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物
部活動の基本方針	【部活動の意義】 ○スポーツや芸術文化活動の楽しみや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフ、芸術文化活動を継続する資質や能力を育てる。 ○自主性、協調性、責任感、連帯感を育成する。 ○互いに競い合い、励まし合い、協力する中で友情を深め、学級や学年の枠を超えて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより、学級内とは異なる人間関係の形成を促す。 ○体力の向上や健康の増進、自己肯定感や達成感、満足感を得ることができる。 【活動時間】 ○平日（土曜日を含む）は週4回の活動とし、1日の活動が2時間以内とする。 ○休日の練習は月2回の活動とし、休日に対外試合等があった場合は平日の練習を休みにするなどの休養に考慮する。 ○定期考査の前1週間は部活動禁止とする。（公式戦は除く） 【事故防止】 ○施設・設備・備品の点検、生徒の健康状態の確認、熱中症への対応、教員不在時の指示徹底などを確実に行うことで事故防止に努める。 【その他】 ○保護者との連絡、相談を行うことで、協力体制を作る。 ○正顧問、副顧問、補佐の教員との連携を図ると共に、外部コーチを配置する場合は指導方針の確認を丹念に行う。 ○体罰、セクハラ、パワハラ等のハラスメントは絶対に行わない。

各部の活動方針

中学野球部

顧問名 下川慎太郎、小浜渉、室谷康生

目標	県大会出場 野球を通した心の成長
方針	1. あいさつ。 2. 返事をする。 3. 時間を守る。 4. グラウンドで歩かない。 5. 整理整頓。
年間計画	4月...柏市親善大会 5月...IBA 春季東日本大会 7月...総体 8月...弁天杯 9月...新人戦 10月...一年生大会 11月...IBA 秋季大会 12月... 2月...東葛大会 3月...IBA 全国大会 ※通年、柏リーグ

各部の活動方針

中学男子バスケットボール部

顧問名 杉本 崇・瀬貫 慎之介

目標	地区大会優勝・県大会出場
方針	『自主自立』 コートに立ったらその場に応じて自分で判断しプレーする必要がある。日常生活でも自分がすべきことを判断し行動できるようになる。 『責任感』 バスケットボールをするにあたって多くの人の世話になっていることを認識し、自分に与えられた役割を全うする責任があることを学ぶ。 『仲間を大切にする気持ち』 どんな時も仲間同士で励ましあい、チームで困難を乗り越える。
年間計画	4月：春季大会 5月： 6月：県選手権（春季大会を勝ち上がった場合） 7月：柏市総合体育大会 → 県総合体育大会 8月：夏合宿(実施については検討中) シード決め大会 9月：柏市新人大会 10月： 11月：私学交流大会(今年度実施するかは未定) 12月：1年生大会 1月： 2月：冬季大会 3月： 随時練習試合

各部の活動方針

中学女子バスケットボール部

顧問名 和田 理・瀬貫 慎之介

目標	「教科学習」と「部活動」とを両立し、大会での勝利を目指す
方針	バスケットボールを通じて感謝の心、自立の心、思いやりの心を育み、社会に貢献できる人物を育成する
年間計画	《4月中旬》 柏市春季大会 《6月上旬》 県選手権（地区大会で勝ち残った場合） 《7月中旬》 柏市総合体育大会 《7月下旬》 県総合体育大会（地区大会で勝ち残った場合） 《8月下旬》 市内シード決め大会 《9月下旬》 柏市新人戦 《11月上旬》 県新人戦 《12月上旬》 地区対抗大会 《12月下旬》 1年生大会 《1月下旬》 春季大会

各部の活動方針

中学男子テニス部

顧問名 飯塚健太郎・石塚友哉・市ノ瀬邦彦

目標	県総体ベスト4・南関東私学大会出場
方針	「テニスを楽しむ」「テニスを通じて挨拶や礼儀、人間性を磨く」
年間計画	① 柏市中学校総合体育大会（団体戦） 6月8日（日） ② 千葉県中学校総合体育大会（団体戦・個人戦） 7月25日（金）～7月28日（月） ③ 関東中学校総合体育大会（団体戦・個人戦）（②の結果次第） 8月6日（水）～8月9日（土） ④ 柏市中学校新人体育大会（団体戦） 9月14日（日） ⑤ 千葉県中学校新人体育大会（団体戦） 9月27日（土）～28日（日） ⑥ 南関東私学大会（団体戦）（⑤の結果次第） 11月3日（月） ⑦ 関東中学校新人体育大会（団体戦）（⑤の結果次第） 11月15日（土）・22日（土）～23日（日） ※12月前半：遠歩き

各部の活動方針

中学女子テニス部

顧問名 濱口 弓果、近藤 亘、富田 陽介

目標	県総体 優勝 部活動を通して、テニスの技術面だけでなく、挨拶や礼儀、人間性を磨く
方針	・一年生：一人一人が自覚をもって行動する。（コート整備・挨拶・返事） ・二年生：技術面だけでなく、礼儀面などを一年生に伝えていく。時間厳守。 ・三年生：最高学年として率先垂範を心掛け、部活を牽引していく。
年間計画	①柏市中学校総合体育大会（団体）・・・ 6月上旬 ②千葉県中学校総合体育大会（個人、団体）・・・ 7月下旬 ④関東中学生テニス選手権大会（団体、個人）・・・ 8月上旬 ⑤柏市中学校新人テニス選手権大会（団体）・・・ 8月下旬を予定 ⑥千葉県中学校新人テニス選手権大会（団体）・・・ 9月下旬を予定 ⑧南関東私立中学校テニス大会（団体）・・・ 11月を予定

各部の活動方針

中学サッカー部

顧問名 山田 大樹、松丸 慶汰、平岩 翔太

目標	・ 柏市内大会 優勝 ・ U-15 大会 県大会出場 ・ 私学大会 関東大会出場
方針	< 中学サッカー部 5 つの心得 > 1. サッカーを通して人格の向上に努めること 1. 礼儀を重んずること 1. 絶えず向上心を持ち、自ら努力すること 1. チームの「和」を大切にすること 1. 常に紳士たること 上記の目標をかかげ、日々生徒の心身の育成に努める。
年間計画	1 月～ 6 月 : U-15 リーグ戦 4 月 : 柏市春季サッカー大会 7 月 : 総合体育大会 7 月, 8 月 : U-15 選手権大会 7 月～ 3 月 : 東葛リーグ 9 月 : U-15 選手権大会 県大会 9 月, 10 月 : 柏市新人サッカー大会 11 月 : 私学大会 11 月, 12 月 : 柏市三種大会 12 月, 1 月 : 首都圏私学チャンピオンズカップ 1 月, 2 月 : 柏市一年生大会 11 月～ 8 月 : 私学中村杯

各部の活動方針

中学ゴルフ部

顧問名 佐坂浩二

目標	・大会に参加する ・男女とも団体戦に出場する	
方針	・教育目標に沿って、感謝や思いやりのある言動、ルール・マナーを身につけ、生涯スポーツとして長く活動できるように基本動作を学ばせる。 ・大会参加を目標に6年間で100ストロークを切れる技術を身につけさせる。	
年間計画	6月上旬	関東中学校ゴルフ選手権予選 男子の部（個人・団体戦）
	6月中旬	関東中学校ゴルフ選手権予選 女子の部（個人・団体戦）
	7月中旬	関東ジュニアゴルフ選手権予選 男女（個人戦）
	9月下旬	関東中学校ゴルフ選手権冬季大会予選 女子の部（個人戦）
	10月下旬	関東中学校ゴルフ選手権冬季大会予選 男子の部（個人戦）
	12月中旬	関東中学校ゴルフ選手権冬季大会決勝 男女（個人戦）

各部の活動方針

中学空手道部

顧問名 北岡希久朗

目標	● 千葉県中学生空手道選手権大会 2 位以上（関東・全国大会出場） ● 全国大会、関東大会出場の場合 予選ラウンド突破（ベスト 3 2） ● 層に厚みが出たチームの場合 全国大会ベスト 1 6 以上 ● 中学 1 年生から空手道を始めた場合、中学 2 年 2 月に初段合格（黒帯）
方針	人間教育（「人格の完成」に努め、社会生活として必要な礼儀・マナー・奉仕の精神・協調性・健全な上下関係、忍耐力、努力の継続などを学ばせる）
年間計画	4 月 春季流山市大会（希望者） 千葉県空手道選手権大会（夏の全国大会予選） 6 月 インハイ予選（高校生の応援） 7 月 関東大会（4 月の選手権で権利を得た場合） 8 月 合宿 全国中学生空手道選手権大会（4 月の選手権で権利を得た場合） 9 月 演武会 昇級・昇段審査 千葉県選抜中学生空手道選手権大会（春の全国選抜予選） 11 月 春季流山市大会（希望者） 12 月 遠歩き 2 月 昇級・昇段審査 3 月 全国中学生空手道選抜大会（10 月の大会で権利を得た場合）

各部の活動方針

中学剣道部

顧問名 秋元誠道

目標	・ 人間形成 ・ 麗澤一、日本一の部活 ・ 県大会出場、上位入賞
方針	剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛なる気力を養い 剣道の特性を通じて礼節をとうとび、信義を重んじ誠を尽して 常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して広く人類の平和繁栄に 寄与せんとする（全日本剣道連盟『剣道修錬の心構え』と同方針）
年間計画	7月中旬 総合体育大会柏地区予選（個人・団体） 8月初旬 合宿 8月下旬 千葉県私学大会（団体戦） 10月下旬 新人剣道大会（個人・団体） 2月初旬 坂東太郎剣道大会（団体戦）

各部の活動方針

中学ラグビー部

顧問名 幸保裕介、及川諭志、松倉功和

目標	男子：【チーム】単独（麗澤中学ラグビー部）で大会出場。 千葉県秋季大会 優勝。 女子：【チーム】全国優勝 【個人】ユース日本代表選手、関東代表選手等を輩出。
方針	・麗澤精神、ラグビー精神を通し、グローバルリーダーを育成する。 ・学習との両立を目指す（男子）。 ・女子ラグビー部の目標実現を第一目標とする（女子）。
年間計画	【男子】 ・5月～6月 関東大会千葉県・茨城県予選会 ・7月下旬 東日本ジュニアラグビー大会（菅平高原） ・9月～10月 東日本大会千葉県・茨城県予選会 ・11月上旬 千葉・茨城秋季大会 ・12月下旬 千葉県秋季大会 ・2月上旬 千葉・茨城新人交流会 【女子】 ・4月 海老名ガールズフェスティバル ・8月 オープンカップ ・3月 東日本 U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会

各部の活動方針

中学弓道研究会

顧問名 田邊時久

目標	・ 正射必中 ・ 弓道初段を全員取得
方針	弓道を通じて射品射格を磨き、謙譲、思いやり、感謝の心を養う。 学校の教育目標実現に向けて、弓道上達のプロセスを学習習慣に活かす。
年間計画	5 月 昇段審査 6 月 全国少年少女武道錬成大会 8 月 昇段審査 10 月 昇段審査

各部の活動方針

中学バドミントン研究会

顧問名 加藤 雅子

目標	高校生と一緒に練習出来るレベルまで達する事。 シングルス、ダブルスの試合が出来るようになる。
方針	規則を守る。 真剣に練習に取り組み、技術の向上、および強い精神力をつくる。 体力の向上 文武両道 上記の目標をかかげ、日々生徒の心身の育成に努める。
年間計画	・練習 ・練習試合 ※その他市民大会等に出場する場合あり

各部の活動方針

中学女子バレーボール研究会

顧問名 成澤 恵、高木 香代子

目標	・ バレーボールの技術、礼儀、部員同士で社会性を培う
方針	・ バレーを通じてお互い高めあうこと ・ バレーを通じてお互いに思いやること ・ 上達し、競技の面白さを堪能すること ・ 学業をしっかりとしたうえで精いっぱい活動すること 上記方針に基づき、心身の育成に努める。
年間計画	非公式の中学バレー部主催の大会を実施。 時期は未定。

各部の活動方針

中学日本文化部

顧問名 田部井將代、安武智佐、諫山佳子

目標	・茶道における作法を身につける。 (お点前、お茶の頂き方、おもてなしの仕方、礼儀作法など) ・お箏の演奏方法を身につける。 ・浴衣の着付けができるようになる。										
方針	・上級生は進んで下級生の指導ができるようになる。 ・下級生は自分から進んで学ぶ姿勢を身につける。 ・学校や学園の行事を通し、自らの技術の向上を確認すると同時に、おもてなしの心遣いを実践する。 ・自分の不十分なところを認識して、先生方や上級生の指導に素直に従い成長する。 ・お互いに向上し合える人間関係を育む。										
年間計画	<table><tr><td>6 月</td><td>伝統の日の茶会 浴衣の着付け教室</td></tr><tr><td>7、8 月</td><td>箏、茶道の練習 (夏期休暇の初めと終わりそれぞれ約 1 週間の予定)</td></tr><tr><td>9 月上旬</td><td>麗鳳祭 文化発表会(箏演奏) 麗鳳祭 展示会 (箏演奏、茶会)</td></tr><tr><td>11 月中旬</td><td>6 年生お別れ茶会</td></tr><tr><td>12 月中旬</td><td>部内発表会</td></tr></table>	6 月	伝統の日の茶会 浴衣の着付け教室	7、8 月	箏、茶道の練習 (夏期休暇の初めと終わりそれぞれ約 1 週間の予定)	9 月上旬	麗鳳祭 文化発表会(箏演奏) 麗鳳祭 展示会 (箏演奏、茶会)	11 月中旬	6 年生お別れ茶会	12 月中旬	部内発表会
6 月	伝統の日の茶会 浴衣の着付け教室										
7、8 月	箏、茶道の練習 (夏期休暇の初めと終わりそれぞれ約 1 週間の予定)										
9 月上旬	麗鳳祭 文化発表会(箏演奏) 麗鳳祭 展示会 (箏演奏、茶会)										
11 月中旬	6 年生お別れ茶会										
12 月中旬	部内発表会										

各部の活動方針

中学囲碁部

顧問名 後藤健介

目標	・ 個人の実力をアップさせ，級・段を取得する。 ・ 大会にも参加できる実力をつける。 ・ 囲碁の楽しさをアピールして，部員を増やす。
方針	教育目標に沿って、感謝や思いやりのある言動、ルール・マナーを身につけ、生涯活動として長く活動できるように基本動作を学ばせる。 また，心を律する力、忍耐力、思考力、集中力、想像力（創造力）をつけ，中学高校一緒に仲良く，真剣に活動していく。
年間計画	9月上旬 麗鳳祭展示会

各部の活動方針

中学吹奏楽部

顧問名 菱山浩一

目標	・吹奏楽コンクール出場 ・自主公演（演奏会及び発表会）の開催
方針	途中困難最後必勝（超音覇） ・華やかな舞台の上に立つまでには何百時間という練習がある。納得のいくフレーズ、ときには一音をだすために、どこまで自分と向き合えるか。そうやって各自が作りこんできたものを合わせて音楽へとしていくのが合奏です。本番という充実・達成感・みんなで音楽をやれる喜びのために日常を大切にします。 ・上級生は下級生の指導（演奏面、生活面）をできるようにする。 ・下級生は自分から進んで動ける心技体を身につける。 ・お互いに歩み寄る（理解しあう）ことができるバンドづくり。
年間計画	4 月 クラブ紹介、新入生勧誘、新入生育成 5 月 新入生育成、伝統の日に向けた練習 6 月 伝統の日出演、コンクールに向けた練習 （2～3 年生） 7 月 吹奏楽コンクール（B 部門） 8 月 麗鳳祭に向けた練習 9 月 麗鳳祭文化発表（ここで 3 年生は引退） 10 月 新体制でのチーム作り 11 月 アンサンブルコンテスト（希望者のみ） 12 月 1 月 ソロコンテスト（希望者のみ） 2 月 3 月 麗澤中高吹奏楽部第 22 回定期演奏会 ※パートごとに適時レッスン有

各部の活動方針

中学競技かるた部

顧問名 田形 直樹、長谷川みか

目標	・仲間と切磋琢磨し、向上心を持って競技に臨む。 ・集中を要する知的・身体的・精神的な鍛練を重ね、自己を錬成させる。 ・和歌を通じて、日本の伝統文化や日本人の不易の心について理解を深める。
方針	・個人の目標を明確にし、主体的で自律した活動姿勢を身に付ける。 ・上級生は下級生への指導を通して、リーダーシップを育む。 ・下級生は自から進んで学ぶ姿勢を身につける。 ・互譲の精神を大切にし、互いに切磋琢磨し合える人間関係を育む。
年間計画	5月の千葉県中学生大会（個人）、3月の千葉県中学生団体戦で勝ち進むことを目標に、年間を通じて練習を実施。 それ以外にも昇段を目指して、年間を通じて個々に公認大会へ出場。

各部の活動方針

中学科学部

顧問名 守屋佑太郎

目標	1. 科学実験にいそしみ、科学的方法と考え方を体験する。 2. 主に化学実験の適度なテーマを選んで、可能な発表会に参加する。
方針	・活動日は積極的に出席する。(毎週火・水を活動日とする) ・部員同士の交流を深め、科学に関する情報共有を活発にする。 ・同じテーマを、可能な限り長期間継続研究する。
年間計画	4月～9月 麗鳳祭への展示・発表を目指して実験と研究。 一般応募の科学系コンクールへの作品提出、各地で行われる科学実験イベントへの参加を目指す。 科学の甲子園ジュニア大会に出場し、全国大会を目指す。 10月～3月 部員の関心に応じた実験と研究。 年間通じて行った実験をまとめ、報告書やポスターなどの形にする。 翌年の麗鳳祭に展示・発表することもある。

各部の活動方針

中学美術部

顧問名 松原亜沙美・長島圭佑

目標	○実習等を通して、基礎レベルの技術や表現方法を身に付ける。 ○イラスト制作等、自らの手で何かを生み出す楽しみを知る。 ○制作に必要な道具の使用法や保管法を知り、管理ができるようにする。
方針	○実習で美術的な素養を身に付ける。 ○自由制作を楽しむ。 ○他学年との交流を通して、基本的なマナーを身に付ける。
年間計画	5月：アリオ柏文化祭への出展 9月：麗鳳祭での作品展示・部誌作成 12月：入試応援ポスターの作成・掲示 2月：卒業お祝い掲示の作成・展示 3月：入学お祝い掲示の作成・展示 通年：イラスト制作の他、油絵制作など、希望者に向けての実習を行う。 水彩画、鉛筆画、デジタルイラストなど各自で作品制作を行う。 外部の展示会に出展する。 外部のコンテストに応募する。 校内行事における掲示物を作成する。

各部の活動方針

中学和太鼓研究会

顧問名 黒沼千鶴、野部尊仁

目標	・和太鼓の演奏における基本姿勢を身につける。 ・和太鼓の演奏方法を身につける。 ・日本の伝統文化や日本人のものの考え方に触れる。
方針	・上級生は進んで下級生の指導ができるようになる。 ・下級生は自から進んで学ぶ姿勢を身につける。 ・麗鳳祭において自らの技術の向上を確認すると同時に、和太鼓の良さや楽しさを皆に伝える。 ・互いに切磋琢磨し合える人間関係を育む。
年間計画	7～8月 夏期休暇練習(麗鳳祭に向けて) 9月上旬 麗鳳祭

各部の活動方針

中学 SDGs 研究会

顧問名 瀧村尚也

目標	長期：国連加盟 193 か国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた SDGs【Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】の目標達成のために活動を行う。 中期：SDGs の掲げる目標に向けて社会の課題を『自分ごと』として捉え、解決に向けて取り組む 短期：活動に主体的に取り組み、持続可能な活動を行う
方針	・「今、私たちにできること」をスローガンに活動を止めないように持続可能な形で活動を行う ・外部との連携を強化し、学校内だけでない関係づくりに努める ・上級生は進んで下級生の指導ができるようになる ・一つの組織としてまとまって自分に合った役割を担う
年間計画	5 月：プロジェクト立ち上げ、外部出店多数 6 月：外部出店 保護者学級で出店 7 月 フェアトレードコーヒー&レモネードスタンド出店 8 月 ボランティアアワード 2024 に出場 9 月 文化祭で出店 11 月 保護者学級で出店 12 月 外部出店 1 月 中学入試で出店